

令和 4 年度

歴史資料館年間報告書

Historical Museum Report



古賀市立歴史資料館

目 次

I	令和4年度 事業実績一覧	1
II	事業報告	6
	1. 自然史・歴史講座（全6回）	
	2. 展示	
	企画展「鹿部山発掘50年」展	
	特集展示	
	パネル展「戦争とくらし～兵士になる～」	
	パネル展「薦野増時と薦野立花家の人々～増時没後400年～」	
	船原古墳パネル展「古賀の宝 船原古墳の世界」	
	出張歴史資料館	
	3. 教育普及	
	れきし体験パスポート	
	子ども歴史講座（全5回）	
	ナイトミュージアム＆ライブラリー	
	施設見学	
	実習生受入	
III	来館者数	18
IV	令和5年度 目標及び事業計画	19

I 令和4年度 事業実績一覧

《自然史・歴史講座》

事業名・講師 等	開催日	参加者数	内 容（開催場所）
第1・2・3回 船原古墳講座【初級編】	5月28日(土) 6月18日(土) 7月2日(土)	7人 9人 16人	第1回:船原古墳の価値と古墳時代 第2回:船原古墳の出土品 第3回:ミニ・シンポジウム (歴史資料館中会議室)
第4回 【講演会】 「鹿部山遺跡の調査とその時代」 講師:木村 幾多郎 氏 (元大分市立歴史資料館長)	8月7日(日)	48人	【企画展関連事業】 鹿部山遺跡の調査について (交流館多目的ホール)
第5回 【現地学習】 第22回市民ウォーキング 「古賀を歩こう！ 鹿部山発掘50年記念ウォーク」	10月1日(土)	27人	【企画展関連事業】 企画展でとりあげた遺跡をめぐる ※生涯学習推進課との共同事業 (鹿部山とその周辺)
第6回 【現地学習】 「色姫の里宗像氏の遺跡をめぐる」	3月8日(水)	31人	色姫の墓、承福寺、宗像氏貞公墓所や 増福院などの見学 (古賀市、宗像市)
自然史・歴史講座 合計		138 人	

《展示》

事業名		期間	観覧者数	内 容（開催場所）
企画展 「鹿部山発掘 50 年」展		7月16日(土)～ 8月28日(日)	1,205人	鹿部山とその周辺地域の 50 年の変容を、歴史的な資料や発掘調査の資料とあわせて紹介 (歴史資料館ギャラリー・展示室)
特集展示	パネル展 「戦争とくらし ～兵士になる～」	12月1日(木) ～11日(日)	244人	戦前の日本男児最大の義務であった兵役について、そのしくみや兵士を送り出す思いなどを所蔵資料とパネル展示で紹介 (歴史資料館ギャラリー)
	パネル展 「薦野増時と 薦野立花家の人々 ～増時没後 400 年～」	3月1日(水) ～19日(日)	402人	薦野増時とその系譜につらなり、黒田藩に仕えた薦野立花家の代表的な人物をパネルで紹介 (歴史資料館ギャラリー)
船原古墳パネル展 「古賀の宝 船原古墳の世界」		4月21日(木)～ 5月31日(火)	561人	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示 (歴史資料館ギャラリー)
		8月29日(月)～ 9月4日(日)	—	船原古墳PRのためのパネル展示 (アクロス福岡コミュニケーションエリア)
		11月15日(火) ～25日(金)	—	船原古墳PRのためのパネル展示 (市役所市民ホール)
出張歴史 資料館	古賀市子ども わくわくフェスタ	11月27日(日)	172人	昔のあそび体験 (歴史資料館中会議室)
展示 合計		2,584 人		

《教育普及》

事業名	開催日・期間	参加者数	内 容（開催場所）
夏休みれきし体験パスポート	7月16日(土)～ 8月21日(日)	249人	小中学生を対象とした体験型学習で、歴史資料館展示物に関するクイズを通して、古賀の郷土歴史を学ぶ (歴史資料館展示室・ギャラリー)
冬休みれきし体験パスポート	12月23日(金)～ 1月9日(月祝)	40人	
春休みれきし体験パスポート	3月24日(金)～ 4月9日(日)	167人	
れきし体験パスポート 合計		456 人	

事業名・講師 等	開催日	参加者数	内 容（開催場所）
第1回 「勾玉づくり」	5月7日(土)	10人	勾玉の講義及び滑石で勾玉づくり (歴史資料館中会議室)
第2回 「杏葉づくり」「勾玉づくり」	7月21日(木) 7月22日(金)	31人	・杏葉の講義及び石膏で杏葉づくり ・勾玉の講義及び滑石で勾玉づくり (歴史資料館中会議室)
第3回 「古賀の遺跡を探検しよう」	9月23日(金祝)	22人	市内の遺跡をバスでめぐり、現地で見学 (みあげ史跡公園→鹿部山公園 →古賀グリーンパーク→船原古墳)
第4回 「縄文土器をつくろう」 講師:香川 義文 氏 (古賀市陶芸同好会代表)	10月8日(土)	7人	土器や焼き物の講義及び輪積み法で 縄文土器づくり (交流館 102 工芸室)
第5回 「古代食ってなあに？」	10月29日(土)	12人	古代食の講義及びどんぐりの粉を使ったクッキー等づくり (交流館 101 調理室)
子ども歴史講座 合計		82人	

事業名	開催日	参加者数	内 容
ナイトミュージアム&ライブラリー	12月3日(土)	22人	閉館後の歴史資料館・図書館を探検 (図書館、歴史資料館展示室、中会議室、ギャラリーの一部)

■団体見学実績一覧

事前申込みで、学校の施設見学・教科学習や一般団体の生涯学習で歴史資料館見学の対応を行った。

	月	団 体 名	見学者数	内 容
1	5月	道雪会	25人	中世について
2	7月	花見小学校 6 年生	99人	社会科見学(歴史の学習)
3	9月	花鶴丘3丁目成人学級	16人	船原古墳および歴史資料について
4	10月	郷土の歴史を学びあう会	10人	唐津街道について
5		青柳小学校 5 年生	56人	歴史資料館見学
6		花鶴小学校 2 年生	108人	生活科(公共施設見学)
7		株式会社国際交流サービス	15人	船原古墳と歴史資料館について
8	11月	遠賀町立島門小学校 3 年生	91人	社会科見学「昔の道具とくらし」
9	12月	福津郷土史会	16人	①宗像・粕屋地域の歴史的つながりについて ②船原古墳や鹿部田淵遺跡などについて
10	2月	古賀東小学校 3 年生	108人	社会科見学「市のうつりかわり」
11		花鶴小学校 3 年生	107人	社会科見学「市のうつりかわりと人々のくらしのうつりかわり」
12		千鳥小学校 3 年生	49人	社会科見学「昔のくらし」
13		久保区久住会	20人	船原古墳について
見学者 合計			720 人	

■実習生受入れ一覧

	期間	学 校 名	人数	内 容
1	8月6日～28日 のうち6日間	北九州市立大学	1人	博物館実習課程

《刊行物》

- ・企画展図録「鹿部山発掘 50 年」を作成し、発行した。

《所蔵資料整理業務》

- ・「新原耕地図」について、後世継承のためデジタル化を行った。

《資料収集整理活動》

- ・令和4年度の寄贈は8件で、全2,987点及び古文書類

	内 容	点数
1	戦時資料 他	50点
2	下刈鎌	1点
3	大鋸	1点
4	型抜き、巻きす、寿司桶 他(民具)	10点

	内容	点数
5	子ども用晴れ着、ちゃんちゃんこ、子ども用防空頭巾	5点
6	尋常小學校讀本(一～八) 他	15点
7	遺芳	1点
8	めんこ、つぼ、そろばん	2,904点

- ・このほか、鹿部や安部正也さんについて話を聞いて、記録に残した。

Ⅱ 事業報告

1. 自然史・歴史講座（全6回）

■第1・2・3回 船原古墳講座【初級編】

開催日：【第1回】令和4年5月28日(土)

【第2回】令和4年6月18日(土)

【第3回】令和4年7月2日(土)

会場：歴史資料館 中会議室

参加者数：【第1回】7人

【第2回】9人

【第3回】16人 計32人



講座の様子

※令和3年度第3回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止したため、第3回のみ令和3年度受講者も参加

古賀市唯一の国史跡船原古墳についての講座を開催した。

第1・2回は、歴史資料館長が船原古墳の価値や特徴、外部土坑から出土した品々についての講義を実施した。第3回は、「ミニ・シンポジウム」を開催。受講者から事前に質問を収集し、歴史資料館長が文化財係員に質問等をなげかけ、回答をもらうという流れで進行した。その後、船原古墳の保存と活用について意見交換を行った。

■第4回 【講演会】

演題：「鹿部山遺跡の調査とその時代」

開催日：令和4年8月7日(日)

会場：交流館 多目的ホール

講師：木村 幾多郎 氏(元大分市立歴史資料館長)

参加者数：48人



講演会の様子

企画展「鹿部山発掘50年」展の関連事業で、鹿部山遺跡の発掘調査に携わった元大分市立歴史資料館長の木村幾多郎氏を講師にお迎えし、「鹿部山遺跡の調査とその時代」をテーマにご講演いただいた。

発掘調査で見つかった古墳群と出土した遺物について、発掘当時の写真や出土品を分類化してまとめた表などをスライドに表示しながら解説をしていただいた。最後は、「考古学エレジー」（本歌）と「ライダーズ インザ スカイ」（替歌）について語られた。歌が口伝で引き継がれてゆく中で、歌詞が少しずつ変化するということが考古学の世界でもあるとまとめられた。

■第5回 【現地学習】(第22回 市民ウォーキング) ※生涯学習推進課との共同事業

テーマ:「古賀を歩こう!鹿部山発掘50年記念ウォーク」

開催日:令和4年10月1日(土)

コース:5km、6km(歴史資料館長ガイド付)、9km

参加者数:130人(5km:62人、6km:27人、9km:41人)

企画展「鹿部山発掘50年」展の関連事業で、企画展でとりあげた遺跡をめぐるウォーキングを実施した。3コースのうち6kmコースが歴史資料館長のガイド付で、資料を手に計13か所のポイントに立ち寄り説明を行った。



受付



古賀神社



花鶴丘1丁目線路横



堀川公園



JRししぶ駅東口



みあけ史跡公園



鹿部山公園付近



鹿部山展望台



皇石神社入口

■第6回 【現地学習】

テーマ：「色姫の里宗像氏の遺跡をめぐる」

開催日：令和5年3月8日(水)

見学先：色姫の墓、承福寺、宗像氏貞公墓所、増福院 等（古賀市・宗像市）

参加者数：31人

戦国期の古賀を代表する武将薦野増時が敬愛する戸次道雪の側室である色姫に焦点を当て、彼女の出身である宗像大宮司家（特に兄の宗像氏貞）に縁の地を訪ね、色姫とその時代の理解を深めた。

市文化財に指定されている色姫の墓や宗像氏の山城「飯盛山城」と大友氏の山城「鶴岳城」「薦野城」「米多比城」を遠望できる古賀サービスエリアに立ち寄り、攻防が繰り返された宗像氏と大友氏の最前線の山城について資料とあわせて説明をした。

宗像市では、宗像大社、氏八幡社、承福寺、宗像氏貞公墓所、増福院を見学した。承福寺では宗像氏貞と黒田如水の肖像画、増福院では氏貞の像や絵巻物、菊姫が貝合わせで愛用されたといわれる貝を拝観した。増福院から少し歩いたところにある山田夫人古址の碑、その少し奥にある4人の侍女の墓、またその奥にある山田夫人・菊姫母娘の墓もあわせて見学した。



見学の様子

2. 展示

■企画展

テ ー マ : 「鹿部山発掘 50 年」展

会 期 : 令和 4 年 7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日) 44 日間

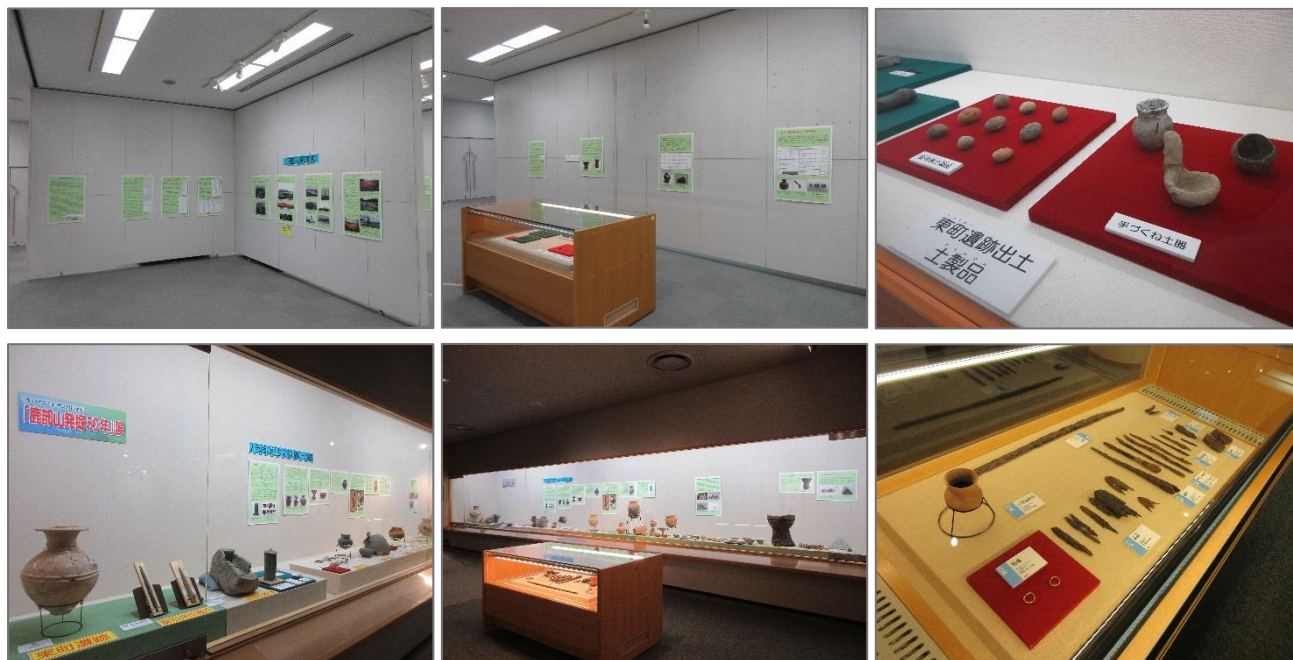
会 場 : 歴史資料館 ギャラリー

観覧者数 : 1,205 人

令和 4 年度は、1972 年に鹿部山遺跡群の発掘調査が行われてちょうど 50 年目にあたる。企画展では鹿部山とその周辺地域の 50 年の変容を、歴史的な資料や発掘調査の資料とともに、広く市民に紹介した。

明治時代から考古学界で注目されていた鹿部山遺跡とその周辺が住宅開発されることになり、そのための事前調査が 1972 年に行われた。その後も鹿部山周辺の宅地整備は進み、この 50 年間で大きく変容した。その変容について、鹿部山発掘調査前に撮影された鹿部山とその周辺の写真や鹿部山が削平されていく経過の写真を掲載し、鹿部の移り変わりを示した。

資料展示では、1972 年の発掘調査以前からの出土品を遺跡ごとに分けて展示。常設展示品以外のものも多く展示し、市民に紹介することができた。



展示の様子

■特集展示

◆パネル展

テ ー マ：「戦争とくらし～兵士になる～」

会 期：令和4年12月1日(木)～11日(日) 11日間

会 場：歴史資料館 ギャラリー

観覧者数：244人

平和を願い、その意識を継承していくために、毎年12月8日の太平洋戦争の開戦日の時期に、特集展示として、パネルや歴史資料館所蔵資料を展示する。



展示の様子

令和4年度は「兵士になる」をテーマに、「兵役」「召集」「入営・出征」「軍隊生活」について解説パネルと資料展示で紹介をした。

昭和20年の敗戦まで、日本男子にとって最大の義務は「兵士」になることだった。自らの命に関わる国民の義務「兵役」のしくみや、兵士を送り出す人たちの思いについて、聞き取りした内容を交えてパネルで紹介した。資料展示では、寄贈いただいた召集令状、「武運長久」の祈願や寄せ書きが書かれた日の丸、軍隊手帳や検閲された郵便物などを展示した。

◆パネル展

テ ー マ：「薦野増時と薦野立花家の人々～増時没後400年～」

会 期：令和5年3月1日(水)～19日(日) 19日間

会 場：歴史資料館 ギャラリー

観覧者数：402人

古賀市薦野を本貫とし、戸次道雪の右腕として活躍した武将薦野増時の400回目の命日にあわせて、パネル展を開催。薦野増時と、戦国期から江戸時代初めにかけて活躍した薦野立花家の代表的な人物を紹介した。



展示の様子

薦野増時の武将としての活躍や、冷静な分析力で戸次道雪・立花宗茂を支えたことなどを紹介した。

薦野立花家を代表する人物については、増時の後継者となった立花茂家や、福岡藩の中で重要な地位を占めていた平左衛門家と勘左衛門家、福岡藩を代表する文化人である立花重根、宮本武蔵の二天一流を受け継いだ立花峯均を紹介。続いて『薦野家譜』を編纂した立花増能、立花一門への粛清と藩政の責任を負うこととなった立花重昌、清瀧寺の本堂を建立した立花増厚、俳人である立花増昆、幕末の家老立花増熊、質札製造が発覚し責任を取らされた立花増実らを紹介した。

■船原古墳パネル展

テーマ：「古賀の宝 船原古墳の世界」

会場・会期：【歴史資料館ギャラリー】令和4年4月21日(木)～5月31日(火)

【ア ク ロ ス 福 岡】令和4年8月29日(月)～9月4日(日)

【市役所市民ホール】令和4年11月15日(火)～25日(金)

観 覧 者 数：【歴史資料館ギャラリー】561人

船原古墳の周知活動の一環として、初心者向けの船原古墳及び1号土坑から出土した馬具などを紹介するパネルを展示した。また、発掘時の様子の写真などをあわせて展示した。

歴史資料館ギャラリーでは、動画の放映を行った。



歴史資料館ギャラリー



市役所市民ホール



アクロス福岡
(コミュニケーションエリア)

■出張歴史資料館

◆古賀市子どもわくわくフェスタ

テ ー マ：「むかしのあそび」

開 催 日：令和4年11月27日(日)

会 場：歴史資料館 中会議室

参加者数：172人

第21回古賀市子どもわくわくフェスタに参加した。「むかしのあそび」をテーマに、けん玉や紙相撲などの合計5種類のあそび体験を実施。子どもだけでなく、大人も楽しんでいる様子だった。



3. 教育普及

■れきし体験パスポート

歴史資料館に親しんでもらい、郷土の歴史を楽しみながら学んでもらうことを目的として、学校長期休業中、小中学生を対象に、歴史資料館展示室内で展示に関するクイズに挑戦するイベントを行った。

◆夏休みれきし体験パスポート

期 間：令和4年7月16日(土)～8月21日(日)

参加者数：249人

内 容：展示物に関するクイズラリー

◆冬休みれきし体験パスポート

期 間：令和4年12月23日(金)～令和5年1月9日(月祝)

参加者数：40人

内 容：展示物に関するクイズラリー、昔のあそび

◆春休みれきし体験パスポート

期 間：令和5年3月24日(金)～4月9日(日)

参加者数：167人

内 容：展示物に関するクイズラリー、昔のあそび

■子ども歴史講座（全5回）

体験学習や現地学習を通じて、郷土の歴史に興味をもってもらうことを目的として、開催した。

◆第1回 「勾玉づくり」

開 催 日：令和4年5月7日(土)

会 場：歴史資料館 中会議室

参加者数：10人

◆第2回 ①③「杏葉づくり」、②④「勾玉づくり」

開催日：令和4年7月21日(木)、22日(金)

会場：歴史資料館 中会議室

参加者数：①5人、②10人、

③10人、④6人

計 31 人

「勾玉づくり」

歴史資料館長が勾玉の用途や種類などについて、土偶や埴輪の画像を用いて説明した。また資料館展示室にある勾玉もあわせて紹介した。体験活動では、最初に作り方の動画を見て、作業に取り組んだ。最後に仕上げ用のペーパーで磨いた後、職員が染料で着色をした。



勾玉づくり

「杏葉づくり」

鳳凰文心葉形杏葉のシリコン型に、石膏と絵の具を溶いた水を混ぜあわせて流し込んだ。石膏が固まるまでの間、歴史資料館長が古賀市の歴史と船原古墳についての講義を行った。市内の遺跡や船原古墳について話したあと、船原古墳から出土した馬具の種類や用途を紹介。特に鳳凰文心葉形杏葉の特徴や構造は詳しく説明した。講義後、職員が事前に作成しておいた真っ白な杏葉の模型に絵の具で着色した。着色が終わったあと、シリコン型に流し込んだ石膏を型から取り出し、着色した杏葉とあわせて持ち帰った。



杏葉づくり(着色)

◆第3回 「古賀の遺跡を探検しよう」

開催日：令和4年9月23日(金祝)

見学先：鹿部田渚遺跡（現みあげ史跡公園）、鹿部山公園、
馬渡・束ヶ浦遺跡（現古賀グリーンパーク）、船原古墳

参加者数：22人（小中学生14人＋同伴者8人）



【鹿部田渚遺跡】

地面に穴を掘り、そこに柱を埋める「掘立柱」で建造された、役所的な建物が見つかったと説明した。

子どもたちはたくさん立っている柱に興味を示している様子だった。



【鹿部山公園】

皇石神社では、明治時代に行った工事で甕棺が見つかり、中から青銅製の武器が発見されたことを説明した。また鹿部山経筒の碑のそばにある看板を用いて、経筒の解説も行った。

子どもたちは館長の話真剣に聞いている様子だった。



【馬渡・束ヶ浦遺跡】

パーク内にある木々を紹介しながら目的地へと進んだ。目的地では、「未調査の古墳はどれでしょう？」とクイズを出題し、子どもたちに古墳を探してもらった。またグリーンパークでも甕棺と青銅器が見つかったことを説明した。



【船原古墳】

船原古墳の大きさや外部土坑に位置を確認した。説明時には、船原古墳オリジナルクリアファイルを活用して、1号土坑出土遺物を紹介した。

◆第4回 「縄文土器をつくろう」

開催日：令和4年10月8日(土)

会場：交流館 102 工芸室

講師：^{かがわ}香川 ^{よしふみ}義文 氏（古賀市陶芸同好会代表）

参加者数：7人



土器づくり

歴史資料館長が焼き物と縄文土器について講義を行った。陶磁器と土器の音の違いや焼き方、土器の特徴を解説。また縄文土器の文様の種類やつけ方を説明し、実際に触ってもらって違いを感じてもらった。体験活動では、古賀市陶芸同好会代表の香川義文氏に指導していただき、輪積み法で土器づくりを行った。原体を使って好きな文様を描き、オリジナルの土器を完成させた。

◆第5回 「古代食ってなあに？」

開催日：令和4年10月29日(土)

会場：交流館 101 調理室

参加者数：12人



どんぐりの殻むき・すりつぶし体験

歴史資料館長が、縄文時代・弥生時代の人の食べものや入手方法についての講義を行った。体験活動では、どんぐりの粉を使ったどんぐりクッキーと赤米と白米を混ぜあわせたおにぎりをつくった。クッキーが焼きあがるまでの間、石器を使ったどんぐりの殻割り・すりつぶし体験や石包丁（レプリカ）で古代米（赤米・黒米）の穂刈り体験を行った。

■ナイトミュージアム&ライブラリー

開催日：令和4年12月3日（土）

会場：図書館、歴史資料館展示室、中会議室、ギャラリーの一部

参加者数：22人（8組）※保護者や就学前の子ども含む

歴史好きのイタズラおばけに乗っ取られてしまった夜の図書館と歴史資料館から脱出するゲームを実施した。班ごとに分かれた参加者は懐中電灯を片手に、真っ暗な館内を進みながらおばけがだす様々なミッションに挑戦した。



【歴史資料館ミッション】

館内の展示物に関するクイズやじゃんけん、資料館内に隠された物を探すミッションに挑戦した。



【図書館ミッション】

指定された4冊の絵本を、絵本コーナーから探し出すミッション、絵本の頭文字から暗号を読み解くミッションに挑戦した。



【最終ミッション】

各ミッションをクリアして手に入れた馬具カードを、馬の絵の正しい位置に貼るミッションを行った。近くにヒントカードを置き、答えにたどり着けるようにした。

いつもと違う雰囲気緊張しながらも、班のみんなと協力して見事全てのミッションをクリアし、全員脱出することができた。最後はお土産を受けとり、フォトコーナーで記念撮影をして、満足げに帰っていった。

■施設見学

歴史資料館では子どもたちの教育普及や一般向けの生涯学習の一環として、事前申込みで施設見学を受け入れている。館内は市内から発掘された出土品の展示や郷土の歴史の紹介、昔の暮らしを知ることができる古民具等を配置し、分かりやすい解説と展示を心がけて子どもたちの学びに力を入れている。

学校の教科学習の見学では、学校と学習のねらいやスケジュール等を事前に打ち合わせして、見学を進めている。机上で学ぶより、実物を見ながら歴史資料館職員の説明を受けることで、日頃とは違う学びが提供できている。

また、古賀市の宝である国史跡船原古墳について、市内外の方により深く知ってもらえるように解説等を行っている。



見学の様子

■実習生受入

◆北九州市立大学「博物館実習生受入れ」

期 間：令和4年8月6日（土）～28日（日）のうち6日間

受入人数：1人

博物館学芸員資格に必要な博物館実習課程履修のため、要望があった学生を受入れ、博物館実習を行った。

Ⅲ 来館者数

令和４年度 開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
4 月	25 日	259 人
5 月	25 日	377 人
6 月	25 日	273 人
7 月	23 日	702 人
8 月	24 日	752 人
9 月	24 日	354 人
10 月	25 日	556 人
11 月	25 日	735 人
12 月	22 日	349 人
1 月	21 日	450 人
2 月	23 日	950 人
3 月	26 日	533 人
合計	288 日	6,290 人
月平均	24 日	524 人
日平均		21 人

【過去３年間の日平均来館者数】

年 度	日平均来館者数
令和元年度	30 人
令和２年度	23 人
令和３年度	21 人

IV 令和5年度目標及び事業計画

■目標

- (1) 郷土古賀の歴史を学習する「自然史・歴史講座」を開催し、講演会、施設見学及び史跡等に出向いての現地学習などを行い、参加者の自然史・歴史、郷土の偉人への興味を高めるとともに、古賀のよさを知ってもらう機会とする。
- (2) 小中学生を対象に「子ども歴史講座」を実施し、体験や講義を通じて、大昔の人々の生活や郷土の文化財を学習する機会を提供する。
- (3) 国史跡船原古墳に関して、古賀市ホームページやフェイスブック、パネル展示などを実施し、市内外への情報発信に努める。
- (4) 小学校開設150年を記念し、この150年間の古賀の学校の変遷について振り返り、ふるさと「古賀」への関心を高める。
- (5) 市内で開催されるイベントに「出張歴史資料館」を出展し、分かりやすく郷土の歴史を発信する。
- (6) 郷土の山城について紹介することで、郷土愛の醸成を図る。
- (7) 古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。
- (8) れきしのアルバム No.47「青柳高等小学校」のデータを作成し、ホームページに掲載する。

■事業計画

《自然史歴史講座・展示・教育普及》

事業名	開催予定日	内容	開催予定場所
第1回自然史・歴史講座【講演会】	8月6日(日)	テーマ:古賀の学校教育の歴史 講師:猿渡 哲夫氏(元古賀東小学校校長)	交流館 多目的ホール
第2回自然史・歴史講座【現地学習】	10月14日(土)	(市民ウォーキング) 青柳をめぐる※生涯学習推進課との共同事業	古賀市内
第3回自然史・歴史講座【現地学習】 「闇千代姫縁の地を訪ねる(仮題)」	3月	闇千代姫に縁のある地をバスでめぐる	古賀市→新宮町 →久留米市 →柳川市 →熊本県長洲町
企画展 「古賀の学校～小学校開設150年～」	7月15日(土)～ 8月27日(日)	古賀の小学校開設 150 年を記念して、 150 年間の学校教育の変遷を振り返る	歴史資料館 ギャラリー
特集展示ミニギャラリー展 「戦争とくらし ～どこで戦い どこで亡くなったか～」	12月1日(金) ～17日(日)	戦時資料などを展示・紹介	歴史資料館 ギャラリー
特集展示パネル展 「立花山城と古賀の山城(仮題)」	3月1日(金) ～20日(水祝)	「博多」をおさえる立花山城と古賀に築か れた山城を紹介	歴史資料館 ギャラリー
船原古墳パネル展 「古賀の宝 船原古墳の世界」	4月26日(水)～ 5月31日(水)	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示	歴史資料館 ギャラリー
船原古墳パネル展	10月14日(土) ～29日(日)	土坑発見 10 周年にあわせて開催	歴史資料館 ギャラリー
夏休みれきし体験バスポート	7月15日(土)～ 8月27日(日)	歴史に関するクイズや昔のあそびなど	歴史資料館
冬休みれきし体験バスポート	12月22日(金)～ 1月8日(月祝)		
春休みれきし体験バスポート	3月22日(金)～ 4月7日(日)		
第1回子ども歴史講座【現地学習】 「古賀の遺跡を探検しよう」	4月29日(土祝)	市内の遺跡をバスでめぐる (みあけ史跡公園、古賀グリーンパーク、 船原古墳)	古賀市内
第2回子ども歴史講座 「杏葉づくり」「勾玉づくり」	7月28日(金) 7月29日(土)	石膏で杏葉づくり 滑石で勾玉づくり	歴史資料館 中会議室
第3回子ども歴史講座 「縄文土器をつくろう」	9月23日(土祝)	縄文土器づくり	交流館 102 工芸室
第4回子ども歴史講座 「古代食ってなあに？」	11月23日(木祝)	古代食づくり	交流館 101調理室
ナイトミュージアム＆ライブラリー	12月	閉館後の歴史資料館・図書館を探検	図書館 歴史資料館

令和 4 年度 歴史資料館年間報告書

令和 5 年 7 月発行
〒811-3103 福岡県古賀市中央二丁目 13 番 1 号

古賀市立歴史資料館

TEL : 092 (944) 6214
FAX : 092 (944) 6215